



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL <https://www.suzukinet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 本間 浩正 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	15,931	13.6	1,668	77.0	1,701	98.0	1,039	28.3
2020年6月期第2四半期	14,028	2.0	942	△9.0	859	△12.2	809	67.4

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 1,194百万円 (50.5%) 2020年6月期第2四半期 793百万円 (231.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	72.23	—
2020年6月期第2四半期	56.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	26,895	18,339	67.1
2020年6月期	24,787	17,491	69.1

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 18,053百万円 2020年6月期 17,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,077	6.9	1,940	11.8	2,023	37.3	1,293	4.6	89.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	14,404,400株	2020年6月期	14,390,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	4,526株	2020年6月期	4,486株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	14,389,893株	2020年6月期2Q	14,385,535株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により停滞した経済活動に持ち直しの動きはあるものの、感染症の再拡大による消費活動への懸念が広がってきており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

海外におきましては、中国では新型コロナウイルス感染症の流行抑制が進み、経済対策や外需の回復が景気を下支えて景気回復傾向が強まっています。米国や欧州経済は回復基調ではありますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により経済活動規制や消費活動マインドの低下により景気回復ペースは緩慢になっています。

当社グループにおいては、部品セグメントでは、電子部品の主力であるスマートフォン関連部品の需要が好調に推移し、自動車電装部品の需要は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復しました。機械器具セグメントでは、自動機器は堅調に推移し、医療組立は安定した基調を維持しました。

このような状況下、当社グループは、更なる生産効率の向上、及び高精度の品質維持を実現するために積極的な改善活動を推し進めてきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高159億3千1百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は16億6千8百万円（前年同期比77.0%増）、経常利益は17億1百万円（前年同期比98.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3千9百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①金型

電子機器向け、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け、自動車電装向け共に外販金型は前年同期を上回りましたが、社内設備用の金型が減少したことで工場全体の生産効率が伸びず収益は減少しました。

その結果、売上高は7億2千9百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は7千1百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器向け部品はスマートフォン、ウェアラブル向けや半導体向けなどが堅調に推移したことに加え、自動車電装向け部品の需要回復により増収増益となりました。

その結果、売上高は118億5千1百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は16億6千7百万円（前年同期比72.5%増）となりました。

③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機器は車載関連装置等が堅調に推移し、医療器具は安定した基調を維持しました。

その結果、売上高は33億4千4百万円（前年同期比23.3%増）、セグメント利益は4億2千3百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。

売上高は5百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は4千3百万円（前年同期比82.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は119億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億8千1百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が16億1千万円、仕掛品が4億2千1百万円増加したこと、現金及び預金が3億5千5百万円減少したことによるものであります。固定資産は149億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千6百万円増加しました。これは主に有形固定資産が4億4千4百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は268億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億7百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は69億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億9千1百万円増加しました。これは主に買掛金が11億8千6百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が6千5百万円減少したことによるものであります。固定負債は16億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千1百万円減少しました。これは主に長期借入金が1億4千2百万円減少したこと、退職給付に係る負債が2千4百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は85億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億5千9百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は183億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千7百万円増加しました。これは主に利益剰余金が8億8千1百万円増加したこと、非支配株主持分が8千2百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.1%（前連結会計年度末は69.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億5千5百万円減少し、17億1千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、13億5千8百万円（前年同期比0.5%減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益16億7千1百万円、仕入債務の増加11億8千3百万円による資金の増加、および売上債権の増加16億5百万円、たな卸資産の増加5億5千2百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、10億9千3百万円（前年同期は6億3千5百万円の収入）となりました。主な要因は、生産設備等の有形固定資産の取得による支出10億9千3百万円による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億2千7百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億7百万円、非支配株主への配当金の支払額1億9千8百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月10日に公表いたしました2021年6月期通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,360,028	2,004,189
受取手形及び売掛金	4,465,330	6,076,300
商品及び製品	331,379	273,398
仕掛品	1,339,579	1,760,876
原材料及び貯蔵品	1,322,949	1,523,738
その他	407,884	270,134
流動資産合計	10,227,151	11,908,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,980,059	6,849,505
機械装置及び運搬具（純額）	4,034,562	4,248,726
土地	1,394,439	1,407,638
その他（純額）	636,753	984,393
有形固定資産合計	13,045,815	13,490,263
無形固定資産	100,623	86,930
投資その他の資産		
投資有価証券	883,458	884,007
その他	531,795	526,521
貸倒引当金	△1,136	△1,136
投資その他の資産合計	1,414,117	1,409,392
固定資産合計	14,560,556	14,986,586
資産合計	24,787,707	26,895,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,328,140	3,514,456
短期借入金	1,237,202	1,249,615
1年内返済予定の長期借入金	404,552	339,126
未払法人税等	507,386	513,605
賞与引当金	105,827	128,088
役員賞与引当金	56,100	28,750
その他	892,489	1,149,246
流動負債合計	5,531,698	6,922,887
固定負債		
長期借入金	387,750	245,540
長期末払金	429,680	416,606
退職給付に係る負債	947,025	971,095
固定負債合計	1,764,455	1,633,241
負債合計	7,296,154	8,556,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,437,470	2,442,450
資本剰余金	2,248,512	2,253,482
利益剰余金	12,080,891	12,961,982
自己株式	△1,249	△1,295
株主資本合計	16,765,624	17,656,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,494	317,614
為替換算調整勘定	66,397	91,453
退職給付に係る調整累計額	△13,209	△12,175
その他の包括利益累計額合計	357,682	396,893
非支配株主持分	368,246	285,582
純資産合計	17,491,553	18,339,095
負債純資産合計	24,787,707	26,895,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	14,028,317	15,931,020
売上原価	12,068,003	13,329,246
売上総利益	1,960,314	2,601,773
販売費及び一般管理費	1,017,818	933,131
営業利益	942,495	1,668,642
営業外収益		
受取利息	4,018	3,954
受取配当金	20,170	6,266
受取賃貸料	3,612	3,971
スクラップ売却益	2,899	4,121
為替差益	—	28,676
その他	4,422	7,434
営業外収益合計	35,124	54,425
営業外費用		
支払利息	18,698	19,923
為替差損	99,772	—
その他	—	2,049
営業外費用合計	118,470	21,973
経常利益	859,149	1,701,093
特別利益		
固定資産売却益	1,468	1,323
投資有価証券売却益	537,144	219
特別利益合計	538,612	1,543
特別損失		
固定資産売却損	1,127	5,121
固定資産除却損	145	3,188
投資有価証券評価損	—	22,592
特別損失合計	1,272	30,901
税金等調整前四半期純利益	1,396,490	1,671,736
法人税、住民税及び事業税	513,536	517,508
法人税等調整額	△36,479	1,124
法人税等合計	477,057	518,632
四半期純利益	919,432	1,153,103
非支配株主に帰属する四半期純利益	109,577	113,771
親会社株主に帰属する四半期純利益	809,855	1,039,332

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	919,432	1,153,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138,765	13,119
為替換算調整勘定	11,688	27,566
退職給付に係る調整額	1,440	1,030
その他の包括利益合計	△125,637	41,715
四半期包括利益	793,794	1,194,818
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	676,964	1,078,542
非支配株主に係る四半期包括利益	116,829	116,275

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,396,490	1,671,736
減価償却費	862,099	900,646
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,787	22,045
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,200	△27,350
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33,231	23,868
受取利息及び受取配当金	△24,189	△10,221
支払利息	18,698	19,923
有形固定資産売却損益(△は益)	△341	3,797
有形固定資産除却損	5	3,082
投資有価証券売却損益(△は益)	△537,144	△219
投資有価証券評価損益(△は益)	—	22,592
売上債権の増減額(△は増加)	5,469	△1,605,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△221,524	△552,304
仕入債務の増減額(△は減少)	310,376	1,183,173
その他	△181,076	211,481
小計	1,667,681	1,866,362
利息及び配当金の受取額	25,251	11,185
利息の支払額	△17,769	△20,434
法人税等の支払額	△310,332	△498,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,364,831	1,358,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△624,007	△144,006
定期預金の払戻による収入	1,003,998	143,994
有形固定資産の取得による支出	△393,743	△1,093,246
有形固定資産の売却による収入	3,824	9,853
投資有価証券の取得による支出	△22,457	△5,185
投資有価証券の売却による収入	678,924	1,125
その他	△11,059	△6,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	635,479	△1,093,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△152,619	37,577
長期借入金の返済による支出	△207,636	△207,636
配当金の支払額	△157,583	△158,106
自己株式の取得による支出	△22	△45
非支配株主への配当金の支払額	△215,110	△198,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	△732,972	△527,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	75,539	△93,871
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,342,877	△355,850
現金及び現金同等物の期首残高	1,885,453	2,072,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,228,331	1,716,226

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	694,517	10,615,060	2,713,403	14,022,981	5,336	14,028,317	—	14,028,317
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	395,739	△413,362	137,146	119,523	42,499	162,022	△162,022	—
計	1,090,256	10,201,697	2,850,550	14,142,505	47,835	14,190,340	△162,022	14,028,317
セグメント利益	143,661	966,828	309,294	1,419,785	24,046	1,443,831	△501,336	942,495

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△501,336千円には、セグメント間取引消去11,407千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△529,648千円、棚卸資産の調整額27,881千円及びその他の影響額△10,976千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	729,473	11,851,804	3,344,594	15,925,872	5,147	15,931,020	—	15,931,020
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	286,429	△197,034	78,357	167,752	122,700	290,452	△290,452	—
計	1,015,903	11,654,770	3,422,951	16,093,625	127,847	16,221,472	△290,452	15,931,020
セグメント利益	71,551	1,667,705	423,244	2,162,502	43,991	2,206,493	△537,851	1,668,642

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△537,851千円には、セグメント間取引消去△14,797千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△532,843千円、棚卸資産の調整額5,604千円及びその他の影響額4,185千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。